

人権だより

(令和5年度3月号)

川之石高校人権委員会 担当 2年次1組

春らしくなってきましたね。ついに今年度最後の人権だよりとなりました。

令和5年度の『八幡浜市人権尊重作品集』に、本校3年次生の横尾衣梨花さんの人権作文と、1年次生の田中空さんの人権ポスター（県優秀賞）が掲載されました。今月号はその作品を紹介したいと思います。

～ 人権作文 人を傷付けないための共感性の育成 ～

川之石高等学校三年次 横尾衣梨花

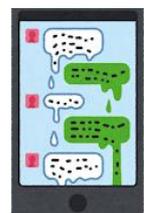
ある男性タレントが自ら命を絶った事をネットニュースで知った。どのような理由でそうなったのか詳しい報道はなかったが、彼が何かしらの生きづらさや悩みを抱えていたのは確かだったのだろうと思う。

LGBTQ 性的マイノリティについては学校でも学習していた。私は身近に性的マイノリティの方と出会ったことがないが、テレビやインターネットで見たり聞いたりする機会が多いため、今日の社会で広く認識され、人権問題としてもっと理解が進んでいるものだと思っていた。もしも、このような問題で悩んでいたとするならば、とても悲しいことだ。

私が知る彼は、インターネット上やテレビ番組でコメンテーターとして自分の意見をしっかり持ち、相手に分かりやすい言葉で話していた印象が強い。彼の過去の姿やパートナーとの結婚、そして父親になっている事も知っていた。その生き方は驚かされることもあったが、世の中には色々な人がいて、それぞれが望む人生があるからこそ、実現している彼は強い人で、幸せなのだろうと思っていた。

私は彼のことが好きとか嫌いとか、特に意識していたわけではない。どちらかという、一人の芸能人としてとらえていただけだ。実際には、私と同じような立場の一個人が、芸能人などに対して無責任な発言をしていることが少なくないように思う。有名人であるからこそ、その言動は注目され様々な影響力を持つのは確かだろう。だからと言って何を言ってもよいのだろうか。心無い誹謗中傷の言葉に傷つかない人はいない。心を傷つけるような言葉を投げかけることは、相手の人権を無視している行為なのだとなぜ気づかないのだろうか。私の身近でも同じような事が起きていないだろうかと思えて恐ろしくなった。

現代では、スマートフォンを持つことが当たり前になり、簡単にインターネットの世界につながるができる。私自身も友人との連絡手段として頻繁に活用しているし、とても便利だと感じている。また、動画視聴やSNSも日常的に利用している。私はそれを見るだけでコメントを書き込むことはせず、他の人が書いたコメントも読まないようにしている。過去に、コメント欄に書かれた内容を



読み、必ずしも好意的な意見や感想ばかりではなかったため、読む気が失せたからだ。写真や動画をアップすることは自由であり、それらを視聴する側の感想も自由であってよい。しかし、自由というのは、好き勝手に無責任な発言をしてよいという意味ではない。投稿など情報発信をする側も、それを視聴する側も、自分の言葉や表現が誰かを傷つけるものになっていないかをよく考えなければならない。

普段よく使うメッセージアプリでは、言葉を短く簡潔に伝えようとしたつもりが、逆に相手にこちらの思いが正しく伝わっていなかったという事が何度かあった。直接会って会話する場合は、分からないことがあればその場で確認できる。また表情や態度などから相手の反応を視覚的に感じ取ることもできる。便利さから多くの人々が利用しているが、伝え方や文章表現には、十分気を付ける必要があると思う。

相手の気持ちになって考えようとか、誰に対しても思いやりを持って接しよう、などと言うだけは簡単だ。実際には自分自身が大切にされた経験や人権が守られているという実感がなければ、相手の事を大切にすることも難しいのではないだろうか。このような経験は、大人になるまでに自然と身に付くものではないだろう。もしも自然に身に付くのであれば、人権問題は起こらないと思う。

私たちはこれまで様々な人権問題を学習してきた。まずは、正しい知識を得ることが大切であるが、つらい立場にある人の気持ちに寄り添い共感する気持ちを育むことができなければ、十分とは言えない。教科書にあるような正しい答えを知っていても、それを行動にうつせるかどうか重要なのだと思う。自分も相手も大切にすることは、人と関わり様々な経験を通して育っていくのではないだろうか。私自身がまずこれからすべきことは、そばにいる友人の意見を聞くことだ。例え意見が違ってても頭ごなしに否定せず、一方では自分の意見を聞いてもらう努力もする。日常生活の些細な事かもしれないが、人を大切にする最初の一步は相手の話を聞くことだと思う。顔の見えないSNSも同様だ。目の前に相手がいると思ってメッセージを送るように心がけ、相手への配慮を忘れないようにしたい。



～人権ポスター ずっと笑顔でいられる世界に～

川之石高等学校一年次 田中 空

背景の色は、絵全体に爽やかさを演出したかったため水色にしました。メインの花は「幸福」の花言葉を持つラナンキュラス（紫）で、ルピナスも添えました。

いじめや差別問題が残されている世の中ですが、笑顔の女性を見て、差別に立ち向かい、一人じゃないという明るい気持ちになってもらいたいと思いました。